# 令和5年度 決算

## 一般会計決算額の概要

| 年度 | 歳　入 | 歳　出 | 形式収支 | 実質収支 |
|---|---|---|---|---|
| R5 | 75億7,311万円 | 71億4,664万円 | 4億2,646万円 | 4億0,078万円 |
| R4 | 68億7,734万円 | 64億2,415万円 | 4億5,320万円 | 4億0,973万円 |
| 増減額 | 6億9,577万円 | 7億2,249万円 | △2,674万円 | △895万円 |

令和5年度の決算が9月定例議会で認定されましたので、その概要についてお知らせします。皆様から納めていただいた税金がどのように使われ、また、町の財政がどのような状況であるのかを示しています。

令和5年度の一般会計歳入（町に入ったお金）総額は、75億7,311万円、歳出（町が使ったお金）総額が71億4,664万円でした。実質収支（歳入から、歳出と翌年度へ繰越すべき財源を引いた額）は、4億78万円となり、黒字決算となりました。

（千円以下四捨五入）

## 一般会計 歳出

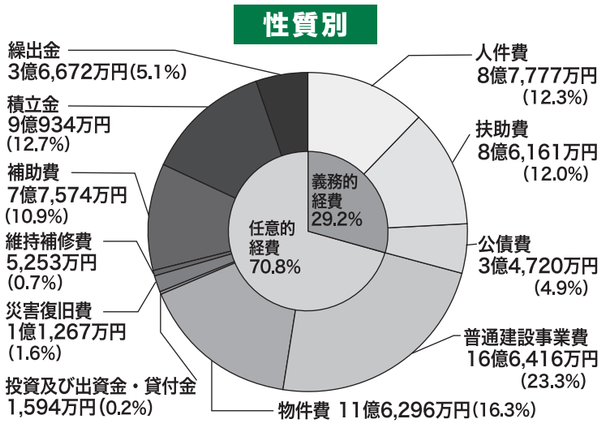
■町が使ったお金
**71億4,664万円**

■町民１人当たりに使われたお金
**991,625円**
［令和６年３月末　人口7,207人］

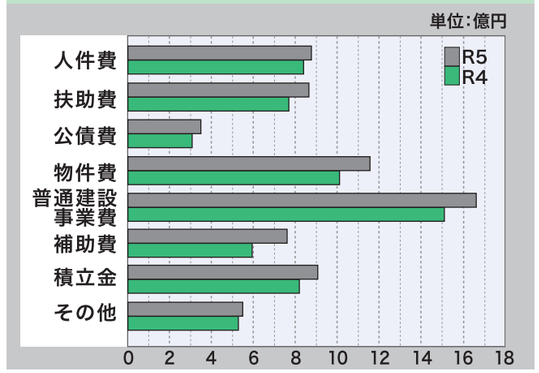
令和5年度の歳出総額は71億4,664万円で、「第2次上毛町総合計画」及び「上毛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による各種事業を実施しました。

主な性質別の支出割合は、普通建設事業費が23.3%（16億6,416万円）で、新体育館建築事業（9億7,243万円）及びサテライトオフィス整備事業（2億2,188万円）等により、前年度比6.9%増（+1億782万円）となりました。3年間の継続事業として実施してきました新体育館建設事業が完了し、出会いと交流が生まれる新たな拠点「ループアリーナ」が開館するとともに、県外の創造的・独創的な感覚を持った企業を誘致するため旧麦酒館をサテライトオフィスとして改修し、更なる定住・交流人口の増加を図りました。物件費は16.3%（11億6,296万円）で前年度比14.9%増（+1億5,052万円）となりました。主な増加要因は、新体育館の指定管理料（4,967万円）や備品購入費（7,257万円）が増加したことに加え、物価高騰の影響により給食調理業務やごみ収集運搬業務等の委託料等が増加しました。扶助費は12.0%（8億6,161万円）で前年度比11.0%（+8,512万円）となっています。主な増加要因は物価高騰による生活者支援として、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯等に対し低所得者支援給付金事業（1億2,379万円）を実施したことにより増加しました。

### 性質別




### 主な性質別歳出額の対前年度比較



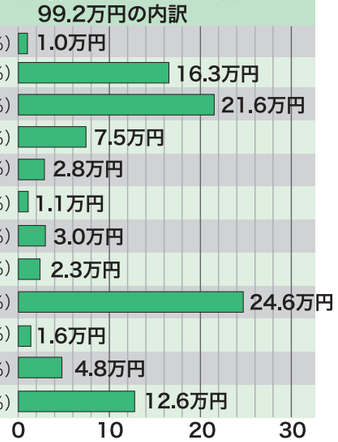

| | |
|---|---|
| 人件費 | 町職員等の給与、退職金、議員・各種委員の報酬などに要した経費です。 |
| 物件費 | 旅費、交際費、消耗品や備品購入費、委託料などに要した経費です。 |
| 扶助費 | 児童、高齢者、障がいのある方を援助するための経費です。 |
| 普通建設事業費 | 公共施設、道路整備などに要した経費です。 |
| 公債費 | 町債（借入金）の返済に充てた経費です。 |
| 補助費 | 各種団体などに交付される補助金・負担金などに要した経費です。 |

義務的経費：支出が義務づけられ、任意に削減できない経費　　任意的経費：町の意思によって削減できる要素をもつ経費

### 目的別

■町民１人あたりの支出額 99.2万円の内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 議会費 | 議会運営のための経費 | 7,390万円 | (1.0%) |
| 総務費 | 庁舎管理・徴税・戸籍事務・地域振興・選挙などの経費 | 11億6,970万円 | (16.4%) |
| 民生費 | 障がいのある方や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費 | 15億5,874万円 | (21.8%) |
| 衛生費 | 予防接種やごみ処理など、健康で衛生的な生活をするための経費 | 5億3,617万円 | (7.5%) |
| 農林水産業費 | 農林水産業の振興、国土調査などの経費 | 2億　295万円 | (2.9%) |
| 商工費 | 商工業や観光の振興などの経費 | 7,876万円 | (1.1%) |
| 土木費 | 道路や河川の整備、町営住宅の管理などの経費 | 2億1,555万円 | (3.0%) |
| 消防費 | 防災・災害対策などの経費 | 1億6,738万円 | (2.3%) |
| 教育費 | 学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費 | 17億7,428万円 | (24.8%) |
| 災害復旧費 | 大雨、暴風などにより被災した施設を復旧するための経費 | 1億1,267万円 | (1.6%) |
| 公債費 | 町債（借入金）の返済のための経費 | 3億4,720万円 | (4.9%) |
| 諸支出金 | 基金への積立て経費 | 9億　934万円 | (12.7%) |




（千円以下四捨五入）

## 一般会計 歳入

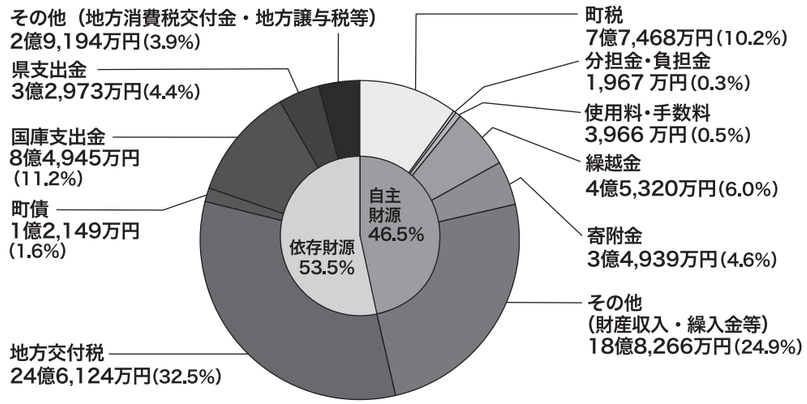
■町に入ったお金
**75億7,311万円**

■町民１人当たりが負担した町税
**107,490円**
［令和６年３月末　人口7,207人］

歳入総額は、75億7,311万円で、前年度に比べ6億9,577万円増加しました。

町税は、自動車製造業の回復により法人住民税等が増加し、1.5%（+1,131万円）増収となりましたが、寄附金のふるさと納税につきましては、地場産品基準の見直し等により△18.7%（△7,997万円）減少となりました。その他（繰入金）につきましては、新体育館建設事業等に充当した公共施設整備基金繰入金の増（+46,100万円）、サテライトオフィス整備事業等に充当したふるさと応援基金繰入金の増（+8,600万円）及び財政調整基金繰入金の皆増（33,700万円）により基金繰入総額は169.4%（+106,717万円）増加しました。

歳入の内訳は、地方交付税24億6,124万円（32.5%）、その他18億8,266万円（24.9%）国庫支出金8億4,945万円（11.2%）、町税7億7,468万円（10.2%）などとなっています。歳入のうち、地方交付税や国・県支出金、町債など、国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源は「依存財源」、町税、寄附金、分担金・負担金、使用料・手数料など、町が独自に収入しうる財源は「自主財源」と呼ばれます。町では自主財源を確保するため、町税増加に向けた人口増加施策や企業誘致を推進するとともに、ふるさと納税を推進していますが、依然として自主財源の歳入全体に占める割合は46.5%で、依存財源を下回っています。



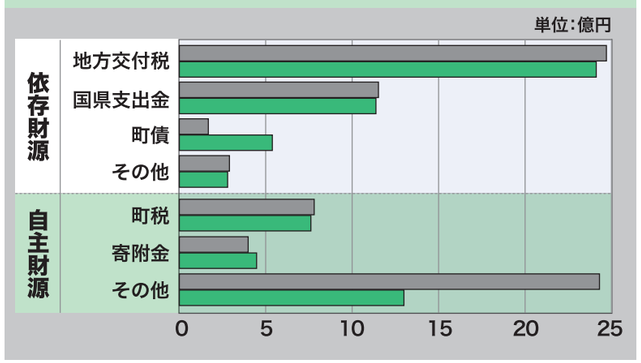

### 町税の内訳

| | | |
|---|---|---|
| ●町民税 | 3億　78万円 | (2億9,825万円) |
| ●固定資産税 | 3億9,428万円 | (3億8,545万円) |
| ●軽自動車税 | 3,500万円 | (3,510万円) |
| ●たばこ税 | 3,794万円 | (3,773万円) |
| ●入湯税 | 668万円 | (684万円) |

※（　）は令和４年度決算額

| | |
|---|---|
| 地方交付税 | 国税として徴収した所得税、法人税、酒税、消費税及び地方法人税の一定割合が町の財政状況に応じて配分されます。 |
| 国・県支出金 | いろいろな事業に対する国・県からの補助金及び負担金です。 |
| 町　　債 | 町の資金調達手段の一つで、長期の借入資金です。 |
| 分担金及び負担金 | 保育所、放課後児童クラブへの入所負担金などです。 |
| 使用料及び手数料 | 町営住宅、公民館等施設の使用料、住民票・戸籍発行手数料などです。 |

### 主な歳入の対前年度比較



▲サテライトオフィス